

活動報告

カップリング・インターンシップ 2021 年度全体最終報告会の実施

広域アジアものづくり技術・人材高度化拠点形成事業 国際人材育成部門

部門長 教授 西川 宏

2022年2月17日(木)に、2021年度オンラインカップリング・インターンシップ(CIS)全体最終報告会を開催しました。本年度は、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響によりCIS実施4か所すべてがオンラインでの実施となりました。今回は2021年度CISに参加した大阪大学学生がオンラインにて活動の報告を行いました。

報告会には、当研究所の関係教職員の他、言語文化研究科、経済学研究科、工学研究科、国際部の教職員、合わせて28名の参加となりました。報告会ではまず、当研究所の近藤勝義教授の開会の言葉に続き、日本(IHI 相生事業所)、タイ(OTC ダイヘンアジア)、ベトナム(IHI インフラストラクチャーアジア)、インドネシア(チレゴンファブリケーターズ)の4か所からそれぞれ20分ずつの発表を行いました。各発表は活動概要、CISで取り組んだ課題への提案内容、各自の学びなどが完結にまとめられており、充実した報告でした。

グローバルに活躍する企業についての理解だけでなく、CIS活動全体を通して、「大学で専攻する学問の捉え方が変わった」「自分の強みがわかった」「チームメンバーからこれまでにない考え方や価値観を学べた」等、様々な気づきや学びが報告されました。また、質疑応答では、自身の経験を咀嚼した上で、力強く意見を述べる学生の姿が見られ、大きな成長を感じ取れる機会となりました。

2020、2021年度と、残念ながら海外への渡航が叶わず、オンラインでのCIS実施となりました。しかしながらオンラインCISという新しい挑戦の中でも成長を遂げていく学生を見ることができ、大変うれしく思います。CIS活動は受入企業ならびに海外連携大学にご理解いただき、多大なるご支援とご協力のもと成り立っています。このCISに参加した学生たちが、CIS経験をきっかけとしてグローバルに目を向け、今後大きく羽ばたいてくれることを祈っています。

